



国際協力

2024.7
夏号
No.80
JICA 駒ヶ根

2024年度 1次隊 165名が訓練修了!

地域の皆さまに支えられ、世界36ヵ国へ旅立ちます!!



6月26日、2024年度1次隊の修了式が無事に執り行われました。

今回は、駐日エクアドル大使館 特命全権大使や所外活動でお世話になった駒ヶ根市民の皆さまなど総勢34名の来賓の方々に見守られ、165名の訓練生に修了証書が授与されました。

答辞を述べた菊池光さん(キルギス: 青少年活動)は、派遣予定のキルギスの言葉「7人の人は皆、聖人」を引用し、生きる人に優劣はなく、みな等しく価値ある存在だ。進んだ先で自分なりの努力をし、人のために力を尽くすことをやめなければ、その道はおのずと正しい道になる。辛いことがあったら、この訓練所で切磋琢磨した仲間との日々を思い出して頑張ってほしいと述べ、全員が無事に帰国し元気な姿を見せることを約束しました。

現在、JICA海外協力隊の累計派遣人数は56,612名、派遣国数は99ヵ国です。(2024年5月31日時点)



2024年度
1次隊 (6名)

長野県出身JICA海外協力隊員 (その1)

行ってきます!! ✈

むらやま りゅういち

村山 隆一 〈長野市出身〉

派遣国/コロンビア

職種/コミュニティ開発

コロンビア第2の都市メデジンのアンティオキア科学技術センターで、災害リスク対策プロジェクトなどの活動に取り組みます。住民の皆さんが安心して安全に暮らせる地域づくりに貢献できるよう精一杯頑張ります!



きたはら みよし

北原 三代志 〈松川町出身〉

派遣国/エクアドル 職種/体育

エクアドル、リオバンバ市にある大学で体育教員を目指す学生たちに体育の指導を行います。エクアドルはガラパゴス諸島があることで知られています。まずは現地の言葉や習慣を学び、仲間として受け入れられるように積極的に行動したいと思います。日本のことも知ってもらえるように頑張ります。

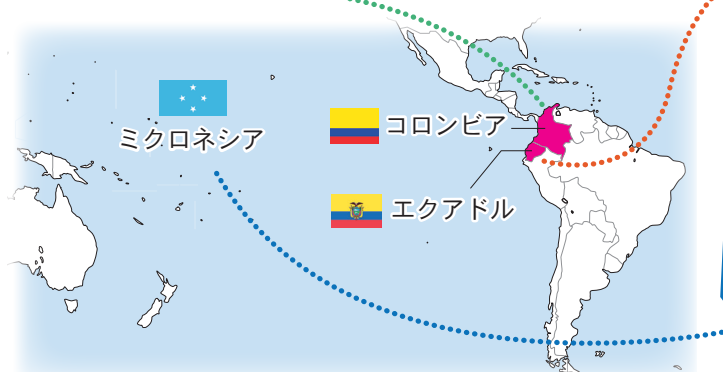


はら ともこ

原 朋子 〈飯田市出身〉

派遣国/ミクロネシア 職種/小学校教育

太平洋の西に浮かぶ島々からなるミクロネシア。その中のコスラエ島という島の小学校に派遣される予定です。現地の子どもたちや先生方とともに、楽しくわかりやすい授業をつくっていきます。チャレンジと感謝を大切に活動したいです。



長野県出身JICA海外協力隊員 その2

行ってきます!! ✈



たかはし きょうたろう

高橋 恭太郎 〈安曇野市出身〉

派遣国／ナミビア 職種／数学教育

アフリカ南部にあるナミビアの『ウサコス中等学校』で、数学の授業や職員研修会などを行います。ナミブ砂漠、多様な野生動物など、自然豊かなナミビアで、子どもたちに数学の面白さを感じてもらえるように全力で頑張ってきます!



はら みゆう

原 美結 〈松本市出身〉

派遣国／ベトナム 職種／言語聴覚士

ベトナムにある病院に勤めます。訓練を受けた現地のスタッフと共に働き、知識や技術の向上を図る為に活動していきます。現地のスタッフと信頼関係を構築しながら自分にできる事を考え、精一杯頑張ります。



もとやま よしあき

本山 良明 〈下諏訪町出身〉

派遣国／キルギス 職種／小学校教育

キルギスの小学校で、分かりやすい算数の授業の在り方について現地の方々と一緒に考えるとともに、日本文化の魅力を感じられる活動をしてきます。両国の友好関係が更に深まる架け橋となれるように尽力してきます!

駒ヶ根訓練所 45周年 スタッフインタビュー

食堂スタッフとして20年以上お勤めの、橋本主任にお話を伺いました。



はしもと なおこ

橋本 直子さん



エジプト料理 ターメイヤ

仕事のやりがいを教えてください。

▶新しい人との出会いが楽しみです。毎隊次、新しい訓練生が入所されるので、自分自身のリフレッシュの機会にもなっていると思います。仕事は毎日が慌ただしく、特に訓練中は大変だなと思うこともありますが、「ごちそうさま」「美味しかったです」という声を頂くとても嬉しいし、やっぱり自分で献立を立てて調理するというのが好きだなと感じています。

思い出に残っているエピソードはありますか?

▶“協力隊＝エスニック料理”という皆さんの期待に応えようと、現在も新しいエスニック料理を開発中ですが、以前、語学講師の先生のお宅にお邪魔して、奥様から現地のお料理を教わったことがありました。言葉が通じない中で教えていただいた、セネガルの鶏肉料理「ヤッサプレ」の味は、格別に美味しかったです!!



セネガルの鶏肉料理 ヤッサプレ

駒ヶ根訓練所45周年のメッセージをお願いします。

▶コロナ禍に一人で黙食する訓練生の姿は、いま思い出しても涙が出るほど切ないものでした。やっぱり、みんなでワイワイしながら食べるこって、「美味しい」につながるんだと改めて感じています。食堂の先輩方が残してくださったレシピに感謝しながら、これからも、ホッと一息ついていただけるオアシスのような食堂を目指して、安心して食べられる安全で美味しいご飯を作っていきたいと思います。45周年おめでとうございます!

タイカレー



タイ風
サラダ

タイ風 鶏の唐揚げ
野菜のターメリック煮



5/7 市民交流会 in 駒ヶ根訓練所

GW明けの5月7日(火)、訓練生と市民の交流イベント「市民交流会」が開かれました。主催は、協力隊事業をかねながら全力でサポートくださっている「駒ヶ根協力隊を育てる会」(以下、育てる会)の皆さんです。

育てる会の副幹事長 ^{みやざわ まさき} 宮澤正輝さんによるノリノリのマイクパフォーマンス(司会)で始まった交流会は終始大盛り上がりで、参加した訓練生の皆さんは「市民の方がとても優しいし、とても面白い話を聞かせていただいて勉強になりました」「駒ヶ根市のおすすめの場所をたくさん聞くことができたので、訓練期間中に行ってみたいと思います」などと話していました。また、訓練生の伊藤美美さんは、「街を歩いていたJAZZライブの張り紙を見て、JAZZライブに行ったら店主の方が市民交流会に行くのでまた会いましょうと誘ってください申し込みました」と、参加のきっかけについて話してくださいました。出会って、すごいですね!!

▶ 今回の最年少参加者となった高校生の久保田清香さん。
「小学生の頃から協力隊の皆さんと交流する機会はあったのですが、こんなに話をしたのは初めてで、いろんなことを聞くことができて良かったです。夢は国際協力なので、大学を卒業したら応募しようかなと思っています。」

▶ 素敵なお着物のすずらん荘の女将 ^{まつぐち さとみ} 松口聡美さん。
「こういう施設があるのは知っていますが、実際に色んな国に行って知らない言語を学んだりしている方と知り合うことができて楽しかった。」



たです。そういった方々を通して途上国のことを知ったり、関わったりすることができるって素晴らしいと思いました。」

▶ グローカルプログラムに参加している岩崎加奈さん。
「2024年度2次隊で駒ヶ根訓練所に来る予定なので、事前に色々見たり、先輩訓練生から事前準備や訓練所での生活など色々聞くことができて良かったです。」

今日を振り返って、育てる会の幹事長 ^{さとう かずき} 佐藤和樹さんは「訓練所に行ってみたいと思いながらもなかなか行くきっかけがなかったりする地元の方々に、せっかく訓練所があるんだから、もっと皆さんに知ってもらって応援してもらったり、関わったりしてもらえるような交流の場をつくりたいという思いで始めた交流イベントです。去年から始めたイベントですが、参加される方によって場の雰囲気が変わるので毎回ライブのような感覚です。今日は参加してくださった皆さんの前向きな思いが、この盛り上がりにつながったのだと思います。本当に皆さんのおかげです。」と話してくださいました。

この「市民交流会」は、今年度あと2回予定されています。皆さま、是非ご参加ください。



6/1 中学生体験入隊 2024

6月1日(土)、地域の中学生の皆さんがJICA海外協力隊(以下、協力隊)の派遣前訓練を実体験するイベント「中学生体験入隊」が開かれました。主催は「駒ヶ根協力隊を育てる会」(以下、育てる会)の皆さんです。



プログラムの始まりは、本物さながらの「中学生体験入隊 入所式」。実際の「入所式」が執り行われている森のステージで行われました。ご家族の皆さんに見守られ、「中学生起立」「中学生着席」のかけ声に合わせて立ったり座ったりする中学生の皆さんはとても初々しく見えました。

② 午前中は、「協力隊講座」・「施設見学」・「チームビルディング」で、JICAや駒ヶ根訓練所のこと、国際協力について学びながら参加した中学生同士が仲を深めました。訓練生との交流プログラムでは、訓練生が考えたオリジナルのゲームやクイズを通して国際理解に関する知識を拡げたり、ボッチャを通して中学生と訓練生がチーム一丸となり競い合っていました。



体験入隊のみなさん
ようこそ!!
今日のランチは、中央アジアの
北東部に位置する国の
色鮮やかなキルギス料理、
ぜひ特徴的な食べ物を
ください!!

③ お待ちかねのランチタイム。今日のメニューはキルギス料理の「プロフ」。鶏肉とニンジン、ピラフにトマトのサラダやほうれん草のスープ。見た目にも色鮮やかで美味しいご飯は、中学生も訓練生もベロリ。ごちそうさまでした!!



④ さあ、午後からはアウトプットの時間。実際に協力隊になったつもりで、相手国のニーズや現状から自分にできることを探すワークショップです。いままですら楽しそうに笑っていた中学生の皆さんも真剣モードに早変わり。自分の特技を生かして、どう相手国に貢献するか!?必死に考える皆さんに頼もしさを感じました。



⑤ いよいよ、修了式です。気のせい、中学生の皆さんの顔つきが少し変わったような? 一人一人、名前を呼ばれ修了証書を受け取る横顔はカッコよかったなあ。育てる会の池崎会長の言葉にもあったように、人が憂いているときにこそ、真っ先にかけつけて労わることのできる「優秀」な人になってほしいと願います。



訓練所を覗いてみませんか？

訓練所ってどんな所？ 何してるの？ そんな疑問をお持ちの皆さん、お待たせしました！ 訓練所を1日開放し、訓練所内の見学や協力隊OB・OG、スタッフとの交流ができるイベント「オープンキャンパスin駒ヶ根訓練所」を今年も開催します！！



開催日：9月28日(土) 場所：駒ヶ根訓練所



◀ 昨年の様子はコチラ

駒ヶ根訓練所HP▶



詳細は鋭意検討中です！ 随時、駒ヶ根訓練所のHPに掲載していきますので、楽しみにお待ちください！！

駒ヶ根ハーフマラソン



当日は、国旗ゼッケンを背に走るランナーへ

皆さんのあたたかい声援をお願いします！

恒例となった“派遣国ゼッケンをつけて走る！@駒ヶ根ハーフマラソン”今年も派遣国ゼッケンの配布を行います。

9月29日(日)に開催される「第11回 信州駒ヶ根ハーフマラソン」。参加するJICA海外協力隊OB・OGの皆さんに、派遣国の国旗が印刷された特別ゼッケンを配布します。この大会は、駒ヶ根訓練所で派遣前訓練を受けた協力隊の皆さんにとっては、ここ駒ヶ根のまちに戻ってくる良い機会になっているようで、毎年多くの協力隊OB・OGの皆さんが参加しています。

ゼッケンの申し込みはコチラ▶



NEW スタッフ紹介

いしだ ともち
石田 智子



今年の2月半ばに駒ヶ根市に引っ越ししてきました。美容師として10年間サロン勤務の後、大阪の美容学校で20年間技術指導していました。

協力隊は2022年にグアテマラの職業訓練校でパーマやカット、ネイルなどの美容技術の指導と、日本の美容文化の紹介等の活動をしていました。これから訓練生のサポートを頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。

おだ ゆうか
小田 侑佳



2024年3月に岡山県から駒ヶ根市に移住してきました。協力隊としては、ウガンダの小学校で算数と体育を教え、2023年12月に帰国しました。100人の子どもたちに対し、1人で行う授業は大変でしたがやりがいがありました！これからは、サポート側として訓練生を支えられるよう頑張ります！よろしくお願いします。

ふじさわ ひでゆき
藤澤 英幸



本年度から駒ヶ根訓練所に勤務しております。さっそくこまがね飲食店応援チケットを購入し、近場のおいしいお店を発掘中です。JICA海外協力隊としての経験は日本語教育職種で派遣国はインドでした。訓練生がその訓練期間を気持ちよく過ごせるよう、それにより学習効率が高まるようサポートしていきたいと思います。

毎月2回！SBCラジオに出演中！

長野県の協力隊OB・OG、出発前隊員、駒ヶ根訓練所スタッフがSBC信越放送に出演し、協力隊体験談や派遣国の思い出の一曲などを紹介しています。

第3月曜日 13:13 ~ 13:30

【ミックス プラス】内のコーナー「協力隊と巡る音楽世界旅行」

第4土曜日 8:22 ~ 8:33

【武田徹のつれづれ散歩道】内のコーナー「地球色の窓をあげよう」

皆さま是非
お聴きください！



SBCラジオHP

2024年度 駒ヶ根訓練所 派遣前訓練人数実績

1次隊：165名修了、2次隊：192名入所予定

JICA KOMAGANE
Home page



facebook



発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp